

☆老人福祉センターは市内在住の60歳以上の皆さんがご利用できる施設です☆

きらめき

平成29年

8月号



社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
京都市山科中央老人福祉センター
〒607-8344 京都市山科区西野大手先町 2-1
山科総合福祉会館 2階
[電話] 501-0242 [FAX] 501-0340
[E-mail] r-yamashinachuo@kcsw.jp
[ホームページ] <http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/yamashinachuo.html>
[開所日・時間] 月曜日～土曜日(祝日除く)・9時～17時
7月21日発行(毎月第3金曜日発行)

期間限定でチャレンジ!

山科東西南北 お勉強会

【申込み 必要】 来所にて受付

歴史・文化・産業・自然・芸術 etc、もっと山科を知ろう!参加者の方には、毎回問題(2問)を持ち寄っていただき、切磋琢磨しながら、お互いの知識を高めあいます。

日時: 8月17日・31日

9月14日・28日

10月12日・26日

11月 9日

いずれも木曜日

午前10時～11時30分

定員: 20名

申込期間: 7月27日(木)

～8月10日(木)



フラワーアレンジメント

【申込み 必要】 来所にて先着順受付

夏の終わりの「テーブルフラワー」にいかがですか。

日時: 8月26日(土)

午後1時30分～3時

講師: 村井 亜貴子さん

材料費: 1,500円 定員: 15名

申込期間: 8月1日(火)～8月14日(月)



大盆踊りのつどい

【申込み 不要】 年齢問わずどなた

でもご来場できます

当日は、定番の盆踊り曲を踊ったり、新しい曲を練習します。地域の夏祭りの練習にいかがですか?



日時: 8月1日(火)

午前10時～11時30分

持ち物: 上靴、飲み物

みんなが楽しめる
催しながいっぱい♪



飲み物持参の際は、センターお越しの際は、

秋のちぎり絵講座

【申込み 必要】 来所にて先着順受付

秋のテーマ「お月見」ちぎり絵作品を作ります。

初心者でも、簡単にできる作品です。

日時: 8月19日(土)

午後1時30分～3時頃

講師: 川勝 よ志子さん(サークル講師)

材料費: 648円

定員: 20名

申込期間: 8月1日(火)

～8月12日(土)



大人のぬり絵

【申込み 必要】 来所にて先着順受付

テーマ「秋桜（コスモス）」
色紙に下書きをして、色を塗ります

日時：8月29日(火)

午後1時頃～3時頃

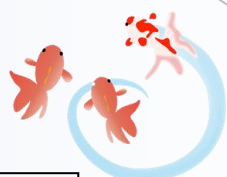
講師：富澤 成夫さん



材料費：500円 定員：15名

申込期間：8月8日(火)

～8月22日(火)



食と健康

【申込み 必要】 来所にて受付

テーマは「バランスよく
食べ！認知症予防！」です。

日時：8月26日(土)

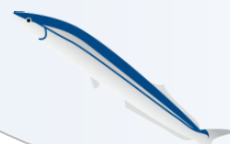
午前10時～11時30分頃

講師：山科区介護予防推進センター

定員：24名

申込期間：8月4日(金)

～8月18日(金)



納涼！

橘大学コンサート

橘大学の学生による残暑を吹き飛ばす納涼
コンサートを開催します！演目は来てのお楽
しみ!?

日時：8月31日(木)

午後1時30分～3時頃

演奏：京都橘大学の皆さん

無事故を願う 京の夏
夏の『交通事故防止府民運
動』が行われています。
(7月21日～8月20日)



「地域支え合い 活動入門講座」

日時：8月30日(水)

午後1時30分頃～3時30分

対象：ボランティア等の支え合い活動により高齢
者の生活支援を行うことに興味のある方

定員：30名(先着順)

申込期間：8月22日(火)締切

申込・問い合わせ先 山科区社会福祉協議会

(593-1294)

地域であなたの「出番」を応援！



《同好会世話人会》 開催のお知らせ

日時：8月5日(土) 午後1時30分～2時30分

内容：29年度の予定、協力依頼事項について 他
世話人の皆さん、ご出席ください。



Breeze (そよ風)

今年も全国各地で猛暑日が続き、京都市内でも最高気温が35度を
超える日が珍しくありません。暑くなると心配されるのが熱中症、

昨夏、熱中症のため救急搬送された方は5万人に達し、うち約50%が65歳以上の方々でした。熱中症にならないための最良の方法は、汗を出すことによって失われた水分をこまめに補給することで、誰でも簡単に行うことができます。現在、厚生労働省や各地方自治体が、熱中症の予防対策として、飲み物携行の必要性を広く呼びかけています。当センターにおいても、かねてから所内の随所に「飲み物は各自で持参しましょう」というPR文書を貼り出し、身近に取り組める熱中症対策の啓発に努めているところですが、一部を除く利用者の皆様のご理解を得るには時間がかかりそうです。自然災害の発生時などは言うまでもなく、いざというとき「自らの身は自ら守る」時代、自分の身の安全は人任せにはできません。自分でできること(備え)をしっかりと行うことが最も大切です。熱中症は室内でも発生します。飲み物は必ず携帯しましょう。そして、のどが渇かなくても水分を補給しましょう。=つづく=

